

問 予算編成の基本姿勢は

答 早急に行財政改革の指針を示す



小原力三議員

問 新町が発足し、執行部、議員も心機一転、新たな決意で、町民の負託に応えていかねばならない。17年度予算の編成に当たって、各部署からの予算要求に対し歳入不足が生じた

と聞いている。新町まちづくりを、どう決断し、どう取り組もうとしたのか。

(1) 予算編成に当たり、初代町長として、財政改革に、どう取り組みられるのか、町民に具体的に示せ。

(2) 予算は総花的もやむなしと思うが、部署要求額を大幅カットされたものは何か。それは何故か町民に示せ。

問 大山町の農業政策は

答 地域の特色を活かした農業振興を

問 農業問題は大きな転換期にあり、また、高齢化に伴い、農家は困惑しているのが実態である。町長は大山町の農業をどの様に舵を取っていくのか、

(1) 17年度予算で切り捨てたもの、又新しい取り組みは。

(2) 米価と減反政策をどう考えるのか。

(3) 農業、漁業、林業その他の制度資金の広報活動は。

答 (山口町長)

国の三位一体改革の中でも、交付税総額や補助金縮減が示され、予算編成に苦慮したところである。合併の有无にかかわらず今後とも財政運営は厳しくなる一方であり、合併を選択したことにより町民の皆さんの、ご要望を取捨選択しながら、必要不可欠な社会資本の整備と効率的な財政運営により、新大山町の発展を目指さなければと考えている。

答 (山口町長)

(1) 切り捨てたものはない。

(2) 地域水田農業のビジョン作り、生産数量調整方式、産地作り交付金の創設など新たな取り組みを今後とも制度の有効活用を図っていく。

(3) それぞれの分野での制度資金を広報することにより、町民に理解を深めてもらう。

問 補助金削減の考え方は

答 限られた財源の有効活用を模索中



遠藤幸子議員

問 団体活動に対する補助金削減について問う。合併協では旧3町に共通した活動のみ補助

助とあるが町長の考えは。長年地域に根づいた活動が、旧町独自にあると思うがその活動に対しても同じ扱い方をすべきでないか。

答 (山口町長)

合併協では補助金の取扱いを改廃を含めて

問 新しいまちづくりの力に女性団体を

答 女性の活躍、力に期待

問 施政方針で各種団体の育成に努力と述べ

ているが今回は女性団体の育成について問う。

答 (山口町長)

男女共同参画の時代とは言っても、能力があるのに場を与えられてもしりごみをする女性が多い。団体の育成の中で女性の意識が変わらなければ、と考える。是非新町にも女性の

検討、新町で調整とした。基本的に補助金とは、目的を達成するための一定期間、団体等の自立を促すための支援と考える。しかし一定の補助金のあり方の方向を整理し、活動の内容を検討して基準を決める必要を感じている。新しくふるさと活性化事業補助金を予算化している。

担当課と協議しながら活用して欲しい。

審議会に女性の登用を増やし、団体の連携、支援を考えている。女性の皆さんの活躍、力に大いに期待している。



毎年開催している婦人レクリエーション大会